

# 2019春季生活闘争

## J R 連 合 F A X ニ ュ ー ス

## N o . 2 1

2019年2月19日

日本鉄道労働組合連合会

### J R 西 日 本 連 合 第 2 6 回 委 員 会

# 総力を結集し、課題の解決・前進に取り組む

J R 西日本グループ労働組合連合会（J R 西日本連合）は、2月13日、大阪市内で第26回委員会を開催し、安全確立、2019春季生活闘争、組織拡大・強化、統一地方選挙・第25回参議院議員選挙など、当面の重要課題に対する活動方針を決定した。

幹事会を代表して挨拶に立った荻山市朗議長（J R 連合副会長・J R 西労組中央執行委員長）は、冒頭、昨年相次いだ自然災害に対して、復旧作業やお客様対応、救援カンパやボランティア活動など、それぞれの立場で協力・尽力していただいた組合員に謝辞を述べるとともに、顕在化した課題解決にむけて先頭に立って取り組む決意を示した。また、2019春季生活闘争については、災害により大きな被害を受けたものの、組合員の努力により早期復旧を果たしたことで、ご利用状況は回復しJ R 西日本グループの経営は堅調に推移していること、「J R 西日本グループ中期経営計画2022」に掲げる2030年頃の「ありたい姿」である営業収益に占める運輸業と非運輸業の比率達成や、J R 西日本グループの持続的発展には、グループに働く仲間の処遇改善を通じ、安心して意欲を持って働き続けられる環境を築くことが不可欠として、グループ全体でベースアップ実施を通じた公正な分配の継続を強く求めていく考えを示した。その他、委員会の重要課題として、「安全の確立」「労働力不足への対応と働き方の改革の推進」「組織の充実・強化と政治活動への協力要請」について見解を示し、委員各位に対して熱心な討議による方針の補強を要請した。J R 連合からは、河村滋喜事務局長と北村公次労働政策部長が出席した。

議事では、幹事会が提案した経過報告、活動方針（案）に対して、7名の委員から安全確立、労働力不足への対応、2019春季生活闘争、主管部との意見交換会の継続開催などの発言があり、担当幹事答弁、里内義次事務局長の集約答弁を経て、すべての議案が満場一致で採択された。

その後、委員会宣言を採択し、最後に荻山議長の団結ガンバローで閉会した。